

事項	りんご試作品種「未希ライフ」の特性		
ねらい	未希ライフは、つがるの前の9月上旬に収穫でき、外観、食味が良好なことから、早生品種として有望と思われるので、試作する上での参考に供する。		
指導 参考 考 内容	<p>1 来歴 未希ライフは弘前市石川の工藤清一氏が千秋につがるを交配し育成した品種で、平成4年に品種登録された。</p> <p>2 果実特性 熟期：9月上旬 大きさ：250～300g程度である。 果色：褐紅色で縞は不明瞭である。 果形：円～扁円形 食味：果肉は硬く、肉質はやや粗雑で果汁が多く、つがるより酸味があり、甘酸適和である。蜜の発生はみられない。 貯蔵力：普通冷蔵で約1カ月間である。 心かび病：発生はみられるが、症状は軽微である。 収穫前落果：収穫前落果は収穫適期の10日程前からみられるが、この間の累積落果率は11～27%である。落下した果実は着色が十分に進んだものが多い。</p> <p>3 その他の特性 生態：つがるやさんさとほぼ同じである。 樹姿：樹勢は強く、立ち枝が出やすいが、成り込むと開張する。 耐病性：斑点落葉病には、ふじより強い。</p>		
期待される効果	さんさと比較すると外観、食味とも異なることから早生品種選択の幅が広がる。		
利用上の注意事項	<p>1 未希ライフは熟期が不揃いなので、落果がみえ始めたら、2～3回に分けてすぐりもぎをする。</p> <p>2 落果防止剤は登録がないので使用できない。</p> <p>3 小玉になりやすいので、摘花、摘果を早めに行うなど果実の肥大を促すような管理が必要である。</p> <p>4 収穫が遅れるとつる割れの発生もみられるので、遅れないようにする。</p>		
担当	青森県りんご試験場 育種部	対象地域	県下全域
発表文献等			

【根拠となった主要な試験結果】

表1 未希ライフの生態及び収穫日

(平成6～10年 青森りんご試)

圃場	品種名	開花日	満開日	落花日	収穫日	満開日からの日数
黒石	未希ライフ	5. 8	5. 13	5. 16	9. 7	115
	つがる	5. 7	5. 13	5. 17	9. 12*	120*
藤崎	未希ライフ	5. 8	5. 13	5. 18		
	さんさ	5. 8	5. 11	5. 17	9. 7*	115*

注) M.26/マルバ台樹

\*：平成9年度指導奨励事項からの引用

表2 未希ライフの果実品質

(青森りんご試)

年	満開日	収穫日 (盛期)	1果重 (g)	硬 度 (1 bs)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)
平6	5/13	9/9	267	14.5	13.3	0.36
平7	5/11	9/11	320	13.8	14.1	0.36
平8	5/26	9/9	222	15.8	14.1	0.40
平9	5/12	9/8	253	15.8	14.2	0.40
平10	5/2	8/31	253	15.4	13.1	0.36
平均	5/13	9/7	263	15.1	13.8	0.38

表3 未希ライフの貯蔵後の果実品質

(青森りんご試)

年	収穫日	調査日	1果実 (g)	硬 度 (1 bs)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)	備 考
平7	9/9	10/9	331	13.6	13.5	0.34	普通冷蔵
平8	9/12	10/15	234	16.2	14.1	0.31	普通冷蔵
平9	9/8	10/3	268	15.8	13.5	0.31	普通冷蔵

表4 未希ライフの収穫前落果の経時変化

(平成10年 青森りんご試)

ほ場	調査果数	落果数	落果率 (%)	落果率 (%) の経時変化			
				8/21	8/26	8/31	9/5
黒石	297	81	27.3	6.4	1.7	8.8	10.4
藤崎	395	45	11.4	2.5	0.0	7.6	1.3

注) 収穫適期は8月31日

表5 未希ライフの収穫前落果と着色程度

(平成10年 青森りんご試)

ほ場	調査果数	着 色*	
		不 良 (%)	良 好 (%)
黒石	81	16.0	84.0
藤崎	30	3.3	96.7

注) \*：着色不良果とは着色率が0～30%程度のもの

表6 斑点落葉病のほ場における発生状況

(平成9年 青森りんご試)

品 種 名	調査葉数	発病葉率 (%)	一葉当たり 病 斑 数	発 病 度
未希ライフ	116	0.8	0.02	0.001
スターキングデリシャス	116	59.5	1.35	10.3
ふじ	121	24.0	0.24	4.0
つがる	101	2.8	0.04	0.01